人手不足に負けない現場づくりへ。「瞬間吸引金型」による無停止成形の挑戦を富山・幕張で講演します

いつもお世話になっております。

このたび、今週の富山県での講演を皮切りに、来週開催される国内最大級のプラスチック展示会「IPF Japan 2026」にてプレゼンテーションを行うことになりましたので、お知らせいたします。

■ 1.「型技術ワークショップ 2026 in 富山」一般講演のお知らせ

今週 11 月 26 日（木）、富山県で開催される型技術協会主催の「型技術ワークショップ 2026 in 富山」において、技能伝承の部門で講演いたします。

> **【講演概要】型技術ワークショップ 2026 in 富山**
>
> ・開催日：2026 年 11 月 26 日（木）
>
> ・講演部門：技能伝承
>
> **・講演テーマ：『瞬間吸引金型の製作で大幅な原価低減を実現』**
>
> ・掲載情報：今月発売の『型技術』誌 12 月号に論文が掲載されております。
>
> ※著作権の関係上、論文のコピーはお渡しできかねますため、ぜひ誌面にてご覧ください。

■ 2.「IPF Japan 2026（国際プラスチックフェア）」出展者プレゼンテーション

続いて、12 月 1 日（火）～5 日（土）に千葉県の幕張メッセで開催される「IPF Japan 2026」の会場内でも、2 日間にわたりプレゼンテーションを行います。

> **【プレゼン概要】IPF Japan 2026 出展者プレゼンテーション**
>
> **・日時：2026 年 12 月 3 日（木）・4 日（金） 両日とも 15:00～15:30**
>
> ・会場：幕張メッセ 展示会場内 C 会場
>
> **・講演内容：『瞬間吸引成形と MT フェルールについて』**

■ 3. 講演に込めた想い：人手不足と労務費上昇を乗り越えるために

今回の 2 つの講演に共通する最大のテーマは、「深刻な人手不足のなかで、いかにして製造原価を下げ、未来を切り拓くか」という点にあります。

現在、多くの製造現場が人材不足の補充に奔走しています。しかし、仮に人を追いかけて採用できたとしても、労務費は増える一方です。労務費が増加するなかで、製造原価を確実に下げられる具体的な根拠を見いだせなければ、企業は衰退するしかありません。

■ 「無停止成形」がもたらす好循環

私たちが目指しているのは、金型そのものに「瞬間吸引」を可能にする改善を施すことです。これにより、たとえ現場に離職者が出たとしても、熟練者の勘や細かな成形条件の調整に頼ることなく「無停止成形」を実現できます。

- **稼働率の向上：**調整や停止のロスをなくし、設備の稼働率を最大化します。

・**品質不良の低減：**成形条件が安定することで、不良品の発生を大幅に抑えます。

・**廃棄材料の削減：**立ち上げ時や調整時の材料ロスをなくし、資源とコストを守ります。

・**労務費の抑制：**人手に頼りきらない生産体制により、労務費の上昇を吸収します。

これらを実現することで、現場の利益体質は確実に強化され、会社の将来は明るくなります。そして当社においては、こうした基盤づくりと同時に「付加価値の高い商品」へ果敢にチャレンジし、生産性をさらに高めることで、明るい未来を築いてまいります。

作成者　株式会社　プラモール精工　脇山高志